

# 鳥取 YEG 通信



発行：平成28年12月15日  
鳥取商工会議所青年部  
広報情報発信委員会

# 12

鳥取商工会議所青年部通信 December 2016

## ■平成28年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部  
会長 牧浦 健泰  
株式会社 牧浦商店

気が付けば一年も終わる師走です。お城まつりが行われた久松山の頂に、うっすらと白い帽子がかぶり冠雪した山は、一年で一番好きな山景色でもあります。寒さが日に日に増す季節でもあります。間もなく、暦の上では「冬至」です。冬至は「一陽来復」とも言われ、太陽の力が最も弱った後に日々回復していくことから、冬が終わって春になるという意味や、悪いことが続いた後、ゆつくりと幸運の兆しが訪れるといった、ポジティブな意味合いがある言葉です。今年には日本各地で天災が起り、自然災害の少ない鳥取県内でも地震に遭われた方、家屋、農作物等、多数の被害に見舞われました。被災された皆さまの一日も早い復興と、明るく年の「来福」を心よりお祈り申し上げます。

11月の定例会は、12日に倉古市内において鳥取商工会議所青年部連合会の3単会合同例会と倉吉YEG創立30周年式典が併せて開催されました。合同例会では、山崎県連会長倉吉YEGが震災お見舞いのお礼と30周年を迎えられた喜びの言葉を、来賓、日本各地よりお祝いに駆けつけられたYEG会員、県連会員に熱く、力強く述べられました。鳥取県連は日本一小さな県連ですが、山崎県連会長の熱いメッセージにより会場の参加者一同が繋がり、素晴らしい県連であることを改めて確認致しました。鳥取YEGも平成30年には、40周年を迎えます。YEG指針に「地域を支える青年経済人として先導者たる気概で研鑽に努めよう」とあります。今後も、次代への先導者として50周年を

見据えた活動に取り組んでまいります。鳥取単会では、11月も「会員が会員のために」オープン委員会を企画、開催しました。会員自らが率先して参加し、鳥取YEGから多くのものを会得しました。今月は講師を招き、鳥取の街を歩きながら「古地図」をもとに歴史探訪をしたり、会員各自が仮想企業の経営者として会社経営をシミュレーションしました。経営の判断材料となる「数字」「ものの見方」や「考え方」を会員同士で意見交換し、互いに研鑽を深めてまいります。

また25日・26日には、兵庫県加古川市において全国会長研修会「かがわ会議」が開催され、全国4・2単会の今年度会長、次年度会長予定者が集い、YEG会長としての心構えや、地域の課題、各単会の方向性等、議論が交わされました。議論の内容が各単会会長が共通して認識していることは、「自分たちが暮らしている地域の魅力は何か」「何を発信するべきか」ということでした。自分の顔にありながら、近くて見えない魅力のように、私たちが生活の基盤とする鳥取の魅力は何かを見つめ直す機会となりました。中国ブロックの単会会長の皆さんからは、昨年の中国ブロック鳥取大会の思い出や、同じ立場の仲間から違う視点で鳥取のセールスポイントをアドバイスしていただきました。各単会で活動する拠点が違えども、私たちが基軸とするYEGの「綱領」「指針」は全国の単会が同じです。せっかくの研修会も、失敗を恐れずに「チャレンジ」や「考動」を興さなければ何も始まりません。研修を終え、今すぐに大きな成果や変化はないかもしれませんが、この鳥取が豊かで住みよい郷土となるように鳥取YEG全員が「考動」を継続して参ります。

本年の結びにあたり、一年間皆さまからの応援や励ましを糧に活動させていただきましたことを心よりお礼申し上げます。来年の干支は、「酉」です。酉は、直観力に優れ、行動がスピーディーで決断に迷いが無いと言われます。来年も鳥取YEGは、酉のように活動してまいりますので、ご声援をよろしくお願い致します。

## 鳥取県商工会議所青年部連合会 恵那商工会議所青年部合同例会

日時 平成28年11月12日(土) 11:00～11:30  
場所 鳥取短期大学 グラナスホール1F 大講義室

秋晴れの素晴らしい天候の中、倉吉の地で開かれた県青連合同例会に鳥取YEGから約20名のメンバーで参加しました。今回は倉吉YEGと親交が深い岐阜県の恵那YEGと津山YEGが参加されました。

冒頭に山崎県青連会長から、全国から寄せられた鳥取県中部地震のお見舞いに対する感謝と「倉吉は元気です！」と復旧への力強いメッセージが発信され、被災された大変な状況の中で30周年記念事業を準備された倉吉YEGへの感謝とねぎらいの言葉がありました。出向報告、各単会の事業報告では、普段あまり触れることの少ない他単会の活動はとても新鮮かつエネルギーに感じ、大いに刺激を受けました。

例会終盤に恵那YEGの事業PRがあり、メンバーで楽器を演奏し、オリジナルの歌詞で倉吉を元気つける歌「サライ」を集まったメンバー全員で肩を組みながら大合唱しました。恵那と倉吉の強いつながりを感じ、改めて遠い地域でも強い絆がつくれるYEGの素晴らしさを実感する例会となりました。



鳥取県青連 山崎会長



参加した鳥取YEGメンバー

倉吉商工会議所青年部創立30周年  
記念式典・記念事業・祝賀会

日時：平成28年11月12日(土) 13:00～20:00  
場所：鳥取県立大学グランドホールF 大講義室、ホテルセントパス倉吉



倉吉YEG宮本会長

地元選出の国会議員の方々をはじめ、たくさんの方からの  
祝辞や祝電が披露されたのちに、倉吉YEG 30周年の歩みの  
動画を視聴し、倉吉YEGの先輩方が築いてこられた歴史の  
重みを実感しました。

記念事業のテーマは「倉吉淀屋」。江戸時代に大阪で繁栄を  
極めた豪商の淀屋が倉吉に暖簾分けした店「倉吉淀屋」があ  
り、大阪の淀屋が潰された後の時代に、大阪に戻り淀屋を再興  
したという史実があるそうです。

前半は講師 旭堂南青氏による講演「蘇生の五兵衛」を聞  
き、今に伝わる「倉吉淀屋」の足跡に思いをはせ、ブローの音量と  
話術に魅了されました。

後半は「倉吉・大阪 両淀屋を軸とした観光資源の可能性」  
と題した討論会。倉吉観光大使の平田進也氏を進行役に、多  
種多様な分野のパネラーの皆さんがいろいろな角度から倉吉  
淀屋の可能性について議論しました。まずは地元の人々がこの  
観光資源を知り、盛り上げていくことが重要だと感じました。

祝賀会はホテルセントパス  
入倉吉で行われました。湯梨  
浜学園の皆さんが書かれた倉  
吉YEGスローガン「挑め！未  
知なる道を」の大きな書に出  
迎えられ、たくさんのおいしい  
料理やバンドの生演奏で、大  
盛り上がりうちに閉会とな  
りました。30年の歴史を振り返  
るとともに、これからの35  
年、40年をどんどん盛り上げ  
ていこうという熱い思いに溢  
れた素晴らしい周年事業でし  
た。



参加メンバー全員で記念撮影

第34回 中国ブロック大会  
たまの大会に参加しました!



記念式典の様子

音楽で、とても趣向を凝らした式典会場でした。

式典が終わり、まずは備前焼体験に向かう分科会がバ  
スに乗りスタートしました。1時間40分くらいで陶芸体  
験の会場に到着、陶芸は思ったよりうまくいかず、皆が  
出来上りを楽しみに体験しました。その他、生花と茶  
道体験をしたグループは、自分でお茶菓子を作る体験は  
イメージ通りにいかなかったものの、ピリツとした空気  
と響く雨音の中の茶道体験はとても素敵なひと時を過  
ごしたようです。瀬戸大橋まつりに参加したグループは  
クルージングで瀬戸大橋を下から見上げることができ、  
雨で寒くて辛かったようですが、それ以上に素敵な眺め  
だったのでよかったとの話を聞きました。

そして、懇親会は「日本の渚百選」「快水浴場百選」に選  
出されている淡川海岸で開催。朝から降っている雨は大  
懇親会を目前にしても降り止まず、会場が野外のため皆  
が雨ガッパや靴カバー、タオルを巻いての完全防備。雨  
が降ることも予想できるのに、なぜこの場所を選んだの  
か?と疑問に思っていました。大懇親会のラストとともに分か  
りました!なんと大会登録人数  
1420名の花火が、雨の降りし  
きる夜空に打ち上げられました。  
ファイナルを飾るにふさわしい綺  
麗な花火は、玉野YEGメンバー  
60名の思いを込めて空高く舞い上  
がりました。空を見上げながら昨  
年の鳥取大会の思いがよみがえる  
ひと時となりました。



参加した鳥取YEGメンバー

新入会員(4名)



後田 拓也 君  
(うしろだたくや)

事業所名 (株)ジーテック  
所属委員会 ビジネススキル向上委員会



矢倉 浩之 君  
(やくらひろゆき)

事業所名 ㈱タマサイエンス鳥取営業所  
所属委員会 地域資源活性化委員会



福田 哲夫 君  
(ふくだてつお)

事業所名 (有)福田建機  
所属委員会 YEGコミュニケーション委員会



田中 博行 君  
(たなかひろゆき)

事業所名 鳥取グリーン(株)  
所属委員会 YEGコミュニケーション委員会